



衆議院議員

つじもと

きよみ

## 辻元 清美さん

—今世紀最後の数年、新しい変  
化、市民潮流が姿を現しつつあるよ  
うです。非営利組織（NPO）から  
政治の世界に入って、来世紀の日本  
社会はどうなる、とみていますか。

「今の日本は土砂降り。曇りのち  
晴れにしたいし、十年ぐらいでそう  
なるんじゃないか。起爆剤になるの  
がNPOの力だと思ってるんです。

最初の五年間で、どれだけ社会の設  
計図を書き換えられるかの勝負」

「そんなの素人の発想やと、市民  
をのけ者にして、一部の官僚とか業  
界が日本を牛耳ってきた。それで、  
お船が沈没しそうになってる。官僚  
や政治家任せだった政策や社会のシ

### 第4章

### 日

### 本

### は

「一人が作っていく。発想のバリアフ  
リーが、とても大事です」

「今は土砂降りから、曇りにな  
る瀬戸際だ」と

「寒流が勝つか、暖流かの境目。  
寒流のところに、経済政策では、経  
済のグローバル化という名で、弱肉  
強食のアメリカーン・スタンダードを  
押しつけようとする潮流がある。何  
でも株価が上がった下がったで評価  
する。私ら、経済の奴隷じゃない」

「日本でも、二十一世紀初頭はも  
ろ少し失業率が高くなり、いったん  
公開の徹底。つぎに機会の均等。特  
に女と男の機会均等の徹底。三つ目  
が外国人との共生と自然環境との共  
存。第四に官民平等。最後は市民参  
加。経済界や政党、社会を支えるあ  
らゆる組織が、この原則にどれだけ  
近くなるかで発展性が占われる」

「組織なしの私や田中康夫さんが  
選挙で勝つとか。長銀やそこらがつ  
ぶれたり。メッセージ性がない企  
業、オーナーが君臨するピラミッド  
型の会社は見向きもされなくなる」

「これからの社会づくりには、五  
つの原則があると思う。一つは情報  
公開の徹底。つぎに機会の均等。特  
に女と男の機会均等の徹底。三つ目  
が外国人との共生と自然環境との共  
存。第四に官民平等。最後は市民参  
加。経済界や政党、社会を支えるあ  
らゆる組織が、この原則にどれだけ  
近くなるかで発展性が占われる」

「新しい価値観、生き方の潮流つ  
てどうか。人間の根本にある生物と  
しての本性が恐怖を覚え、目覚めて  
いるんじゃないか。このまんま行く  
と、地球はキャパシティを超えて  
壊れてしまふと感じ、生き延びるた  
めの手段として、社会の変革が起こ  
ってるようにも思ってます」

聞き手 編集委員 佐田 智子

写真 近藤 悦朗

# 弱肉強食と別の潮流へ

15面に続く